

令和3年度第3回新宿区外部評価委員会第1部会 会議概要

<開催日>

令和3年8月25日（水）

<場所>

本庁舎6階 第3委員会室

<出席者>

外部評価委員（5名）

星卓志、上野麻美、君島淳二、板本由恵、大西秀明

事務局（2名）

廣井副参事（特命担当）、諏方主任

<開会>

【部会長】

皆さん、おはようございます。

ただいまから、第3回新宿区外部評価委員会の第1部会を開催いたします。

今日は評価の取りまとめとして、計画事業の評価と経常事業に対する意見の取りまとめを行います。その後で、施策の評価の取りまとめを行うという手順を進めたいと思います。今日、明日で予定されていますけれども、可能であれば今日で全てまとめられたらいいなと思っています。よろしくお願いいたします。

では、まず、資料確認をお願いします。

【事務局】

事務局でございます。本日お配りさせていただいた資料は、皆様から外部評価のチェックシートということで、施策評価と計画事業評価、また経常事業取組状況ということで出させていただきましたが、全体を集約した形で資料としてまとめさせていただきましたので、皆様にメールで送付、あるいは机にお配りさせていただいております。

資料についての説明については以上でございます。よろしくお願いいたします。

【部会長】

ありがとうございます。

では、評価の取りまとめに入りたいと思います。委員の皆さんは外部評価チェックシート第1部会、今説明があったように、施策評価と計画事業評価、経常事業取組状況が配られていると思います。このチェックシートには各委員の皆さんが提出いただいた意見が記載されていますので、これを基に部会としての取りまとめ、一つの見解というふうにまとめていきたいとい

うふうに思います。

進め方ですけれども、まず、計画事業の82番の①から始めますが、お手元のシートにそれぞれ意見が書かれているので、その順番にポイントを簡単にご説明いただいて、それを確認しながら、全体としてどうまとめるかということを経験したいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

では、早速ですが、まず82の①の地球温暖化対策の推進（区民省エネルギー意識の啓発）ですね。

それでは、順番にということで、私からですが、1行半しか書いていませんけれども、できなかった事業があるというのは、コロナの関係でやむを得ないところがあるというふうに私は認識していますが、その他、もともと予定していた事業は、コロナの関係でできなかったものを除けば、予定どおりできているということで、計画どおりと評価するというふうにいたしました。

では、お願いします。

【委員】

私も、コロナ状況下でも取り組める工夫、例えば、具体的にお聞きした申込者の種の郵送であったり、そういったアクションを起こされているというところで、ニーズキャッチ、あと変更を行っていたというところで、やはり実際、計画当初と違ってはいるものの、推進しているというところで、評価できるといたしました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

3つの事業ですね、みどりのカーテン、省エネルギー照明機器の設置助成、それから、新宿エコ隊の普及と、それぞれ人数なり件数、そういうものが目標値でありますので、たとえ新型コロナの感染でなかなかできなかったとはいえ、それぞれ件数を達成しているというか、できていますので、別に多い少ないではなくて、そういう意味では実施しているということが、ゼロではないので、分かりますので、評価どおりだというふうに考えて、計画どおりだというふうに思います。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

私もコロナ禍で本当によく各部会、努力されたと思っております。確かにちょっと当初の予定よりは若干できなかったこともあると思いますけれども、すごくよく柔軟に対応していると思いますので、計画どおりと評価しました。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

新型コロナウイルス感染症対策の影響で、様々な活動制限等の影響はありますが、評価的には計画どおりと評価いたしました。1点、私の資料の一番下の新宿エコ隊の目標値の6,000名に対して、昨年度より17名増の587名となってしまったんですけども、5,870名のゼロが抜けておりますので、訂正をお願いいたします。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

ということで、この82の①の評価としては、皆さん計画どおりということで、コロナの関係で一部できなかったことがあるのはやむを得ず、全体としては計画どおりと評価しますと、そういうことでまとめることでよろしいですね。

【委員】

はい。

【部会長】

ありがとうございます。

では、シートでは下のほうですね、今後の取組の方向性に対する意見について、次にいきたいと思いますのでお願いします。

【委員】

新宿エコ隊の「あり姿」なんですけれども、2名の委員からもお聞きしていて、「あり姿」がいかげなのかなというところがちょっと私の中で認識が不明確でしたので、今後こういった方ですね、興味関心ある方をどう巻き込んでいくか、登録だけの数字ではなくて、そういった動きがあればというところで、今後の取組につなげていただきたいなというところがあります。

以上です。

【部会長】

ちょっと私から質問ですが、「あり姿」の確認というのはどういう意味で。

【委員】

今、ただ登録に終わって、何も活動していないといったところ、積極的に活動している方、そういった濃淡があるのではないかと思ったところで、「あり姿」と表現しました。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

私は、2番目のエネルギー機器設置助成のことについてですが、前回の会議のときも申し上

げましたが、ヒアリングでは品目についてさらに増やしていきたいというようなお話もありましたけれども、そもそも助成金をもらう申請の手续とか、かなり業者というか事業所に負担がかかっておりますので、そういう手続の簡素化とか、あるいは実際に工事するのは、その事業所がどこかの施工業者に頼まないといけないはずなので、むしろそういう施工業者のほうへのアプローチもあったほうがいいのかなど。助成という意味ではなくて、施工業者さんにも周知をして宣伝をしてもらうような努力があつていいのかなということ、その取組を期待しますというふうになりました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

私も、みどりのカーテンのことなんですけれども、この事業は、ここにも書きましたけれども、約13年間続けている事業で、毎年新規300人という設定なんですけれども、かなり、ここにも書きましたように、マンションなんかだとベランダが共用部分ということで、ネットを張るときに管理組合の許可が要るんですね、その許可が得られないために、やりたくてもできないという方も毎年何人かいらっしゃいますし、もうリピーターの方も多くいらっしゃるの、その方たちをいかに毎年継続して、新規じゃなくて、継続してやっていけるかということにそろそろ重心を移す時期が来ているのではないかと思います。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

テーマが区民の省エネルギー意識への啓発でございますので、今、他の委員からもございましたが、みどりのカーテン等の地球に対するヒートアイランド現象の、そういう意識を高めるためにも、やはり区の小中学校等で子供たちに将来的にこのヒートアイランド対策を含めた、そういうものを広く啓発していただきたいということで、各学校とも、環境白書等を見ると、活動している様子うかがわれますけれども、そのほか、新エネルギーや省エネルギーの機器への助成というのは、やはり区も財政が相当必要なことを見込まれますので、どういう取組が効果的なのかということを含めて検討して、今後とも推進していく必要があると考えております。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

この82の①のところは、意識啓発を目的としているのであるということを確認した上で、す

なわち、例えばゴーヤの苗を植えたからといってCO₂が減るとか減らないとかいう話ではないですね。それが冷房負荷を減らせるでしょうと、そういう意識を持ってねという話ですし、だから、いかに区民の皆さんに、あるいは今、子供も含めてというお話がありましたけれども、効果的に、地球温暖化対策ということが重要であるということを確認していただくかと、その取組が、ここでは3つの柱ができていて、今、ご指摘を皆さんからいただいたとおり、それぞれ3つとも、もう少し頑張ったほうがいいよと、あるいは実際の活動に結びつくようなことを確認しながら進める必要があるんじゃないか、委員のお話はそういうことかと思えますけれども、それぞれお一人お一人別の項目を指摘していただいています、ここではまとめ方としては、3つとももう少し頑張ってほしいですよと、効果のある、子供も含めて、区民の皆さんの意識がそちらに向いてくれるように、まだ努力してほしいですよと、今ちょっと抽象的な言い方をしていますけれども、そんな形のまとめ方をさせていただくということによろしいでしょうか。

【委員】

そうですね、はい。

【部会長】

ありがとうございます。

では、その他意見、感想のところですが、お願いします。

【委員】

私は、その前のところのみどりのカーテンについては計画以下的な表現をしたものですから
.....

【部会長】

これは感想ですね、ありがとうございます。

【委員】

頑張っていると思いました。意見です。すみません。

【部会長】

失礼しました。感想として承りたいと思います。

【委員】

一応、感想ですので、今後ともこういう問題は取り組んでいく必要が大いにあるということで、記載させていただきました。

【部会長】

分かりました。ありがとうございます。

では、82の①は、ということで、まず最初の項目の全体の評価は計画どおりということですし、今後の取組の方向については、先ほど申し上げたように、それぞれもう少し頑張ってもらいたいというようなことを文章にしてまとめたいと思います。ありがとうございます。

では、次にいきましょう。82の②ですね。ここは地球温暖化対策の中で、事業者省エネルギー行動の促進の部分です。内容としては、中小事業者省エネルギー対策支援と事業者向けLE

D照明設置補助、環境マネジメントシステムの導入支援、この3つでした。

私からですが、環境マネジメントシステムの導入支援はゼロ件であったので、部分的には計画以下というふうには言わざるを得ないのかもしれませんが、その他は着実に成果を上げているというふうに思いますので、全体としては計画どおりと評価したいというふうに考えます。

では、お願いします。

【委員】

こちらの取組で、事業者の活動と直接関係がない取組の場合はちょっと難しいかなということなんですけれども、本取組は表彰するなど目に見える形で評価しているというところで、やはりこちらが行動に実際つなげるのではというところで意義があり、評価に値すると思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

ここは私も、おおむね計画どおりであるということで、なかなか数値目標にしにくい部分もあるので、全体としては計画どおりでよろしいのではないかと思います。

【部会長】

では、お願いします。

【委員】

私は、エネルギー対策支援ということで、これは一応、計画以上と評価しました。それから、もう一つのほうの環境マネジメントシステムについては、ISO14001というのはすごく、取得しても次の年、その次の年でお金がかかるということだったんですけれども、エコアクション21というのは割合、環境省が設定している部門で、もう少し取れるんじゃないかなという気がしました。このところでゼロ件ということで、この部分に対しては計画以下と評価しました。前半で計画以上で後半で計画以下ということで、トータル的に計画どおりと評価します。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

事業者向けの省エネルギー行動の推進ということですので、特に、事業者といっても新宿区内、中小企業事業者に対する省エネ対策の支援ということに当たるとは思うんですけれども、LED照明の設置助成という件ですけれども、これは支援事業件数が目標値10件に対して達成度が10件で100%とあるんですけれども、既に中小企業、会社等においてLED化が進んでいる

ということがあっての、この9件でございましょうか。新宿区内には相当な件数の中小企業があると思うんですけれども、9件というのは非常に少ないのではないかなと感じます。そうなので、実際にどれぐらいの申請があるものなのかもちょっと知りたいところではあるんですけれども、そういうのを含めて、ちょっとここに記載させていただきました。LED照明助成に対する省エネ診断、これを行った上で助成を行うというので、まず省エネ診断を受けなくてはいけないわけですね、その上でこの助成が行われるということでございます。そのほかの、企業に対する例の14001でしたか、に関しては、環境マネジメントシステム導入支援はゼロ件とあるんですけれども、会議の中でも若干そういう説明はあったと思いますけれども、区でのこの取組に対する手法の方向性をもう少し検討した上で、さらなる啓発を実施していかれたほうがよろしいかと思っておりますので、ここに記載させていただきました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

今それぞれ、全体としては計画どおりですが、課題はあるよということだったと思います。今後の取組の方向性に対する意見のほうで、その課題はいろいろと指摘することになるのかなと思います。ということで、この部分では、全体としては計画どおりということですが、課題がいくつかありますねということと指摘し、後でその次のページの取組の方向性に対する意見のところでもう少し具体的にというようなまとめ方がどうかなというふうに聞いておりました。

課題として今指摘していただいたのは、まず、環境マネジメントシステムがゼロ件ということとは、やはり何らかの、ヒアリングのときには費用の問題が大きいというような説明もありましたけれども、そこは何か考えなくてはいけないでしょうということが1点あるかと思っております。それから、LEDの件は今、委員がご指摘なさったように、確かに9件っていかにも少ない感じが、そもそもの目標が10件だから、10件じゃないや……LEDは目標値はどうなっていたんです。目標値ってないのか、実績だけが書いてあるんですね。やはり省エネ診断をまず受けて、その上でLED照明の設置補助をしますという、この手続というか手順が結構しんどいということなのかもしれません。そのあたりがそもそもの、いかにも少ない補助対象者ということに課題として表れているのではないかなというようなこともあるかなというふうにお聞きしました。(1)から(2)に流れていくわけですが、そこがやはり少しハードルが高いんじゃないかということかと思っておりますので、その辺の課題がありそうだとこのことをここでは指摘して、全体としては計画どおりというようなことにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

はい。

【部会長】

ありがとうございます。

どうぞ。

【委員】

現場でも申し上げましたけれども、環境マネジメントシステムは認証なんですよ、それで10万円を事業所が頂くということで、これならゼロ件でもしようがないだろうなと思うばかりでありまして、私の今後の取組の方向性のところに書いたんですが、事業所を認証するのであれば、そういう名誉だけじゃなくて、税の優遇措置を与えとか、何か別の方法を持ってこない、これ全体で、ここにも書きましたように、1,000万円程度の事業ですので、まあこんなものかなと思ってしまうわけで、このままだと環境マネジメントシステムの認証は多分進まないと思うので、ちょっとこのあたりはほかの方策との連携みたいなことを一言触れていただきたい。別に私の税の優遇は例えばの話なので、そのように思います。

【部会長】

今後の取組の方向性に対する意見のほうに触れていただきましたので、まず、評価のまとめはいいですね、先ほどのようで。

【委員】

はい。

【部会長】

ありがとうございます。

今後の取組の方向性、今、委員がご指摘されたことも含めてですが、まず、私のところは、同様に環境マネジメントシステムがゼロだということは、やはりいろいろ要因があるんだろうということだと思いますので、その要因分析をきちんとやるべきだろうということ、これはヒアリングのときにもちょっと私も申し上げましたが、区が取組として、経常事業502のほほうですけれども、ISO14001から、それは大変なので、独自のシステムを作って、結構スムーズにやっているよ、みたいな話の説明があったと思います。そういうものをせつかく区として確立しているのであれば、その独自のシステムをこの環境マネジメントシステムとして民間にも適用してもらおうようなことも考えられるのではないのでしょうかということを書きました。これも1つのアイデアではあります。いずれにしても、環境マネジメントシステムは大変だけれども、やはりCO₂の削減という意味では、個々の企業が取り組む内容としては効果があると思いますので、それをもっと普及するということを考えてほしいということかと思います。

では、お願いします。

【委員】

私は細かなところなんですけれども、やはり行動の促進といったところにつなげるために、本当に小さな草の根活動のところ、ニーズを酌み取る、そこから課題をキャッチする必要があるのではといったところで、先ほどおっしゃってくださった環境マネジメントシステム導入がゼロですよといったところも含めて、例えば、窓口があるわけですので、受付にとどまらず、そういった関係者を巻き込むという工夫が必要では、そこが細かな部分の見直しから始めるといったところが必要ではないかと思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

私も先ほど申し上げたとおりなんですけど、ISOは国際規格なので、国際的に日本だけじゃなく活動している企業にとっては必要なんですけども、国内だけで活動している企業にとってはあまりISOを取っていますということでメリットはなくて、むしろエコアクション21のほうを、これは国内が主なので、そちらのほうの普及をもう少ししてもいいんじゃないかと思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

先ほども若干述べましたが、新宿区内には中小企業は数多く存在いたします。まして、商店街を含めて、商業地域でもございますので、新宿区内にある大商店地域といいますか、大きな百貨店等も含めて、今後どのような支援ができるかをもう一度検討していく必要があるのかなと感じて、記載させていただきました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、今いただいたことのまとめとしては、1つは環境マネジメントシステムは、使われないう要因を分析して、いろいろ工夫をさらに考えていただきたいということと、その際に委員がおっしゃった、ほかの件も含めてでしょうけれども、ニーズの把握ということですね、いろいろな活動をされている方がいるし、もちろん企業もたくさんあるので、どういう事業をどういう方法で展開していくのがいいかというためのニーズの把握ということがかなり重要じゃないかというご指摘かと思います。それと関連して、委員が今おっしゃったように、この3つのことだけで事業者省エネルギー行動の促進ということではいささか足りないんじゃないかと、もう少しいろいろやるべきことがあるんじゃないかと、先ほどのニーズの把握ということも含めて、それを検討する必要があるんじゃないでしょうかというようなことでよろしいでしょうか。

【委員】

とてもいいと思います。

【部会長】

その他の意見のところでコメントがあれば、委員からお願いします。

【委員】

すみません、ここでは本当に意見というよりも感想を書かせていただきました。

【部会長】

ありがとうございます。

【委員】

先ほども申し上げましたが、地球温暖化対策というのは一つの業種だけで推進するわけにもいきません。区民、事業者、区等が一体になって今後の課題に取り組んでいく必要があると思いますので、感想として記載させていただきました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、引き続き82の③、地球温暖化対策の推進の区が取り組む地球温暖化対策の推進ですね。

【部会長】

ここは4つですね。(1)、(2)、(3)は新宿の森関係で、(4)が環境に配慮した電力調達ということでした。では、これについて、まず評価の部分から確認していきたいと思います。

これも、私は新型コロナウイルスの関係でどうしても中止せざるを得ないことというのは、自然体験とか、それがなかなか難しかったのはやむを得ないことです。環境に配慮した電力調達というのは、一方で、当初予定していなかった新たな事業で取り組んでいると、今後拡大していくことになると思うんですけども、その先駆けになるということで、全体として計画以上というふうにいたしました。

それでは、お願いします。

【委員】

ここは、今、部会長がおっしゃったとおり、コロナの影響は致し方ないものでございますので、それぞれ計画どおり実施したということでいいと思います。特に、当初計画になかった環境学習情報センターの水力調達は、これはすばらしいと思います。よろしいんじゃないでしょうか。

【部会長】

ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

私は頂いた資料で、カーボン・オフセットで、平成30年が80.8%、令和元年が77.1%、令和2年が61.8%と年々10%近く減少しているので、ちょっとこれはそろそろ行き詰まっているのかなという感じを受けました。ただ、カーボン・オフセットの新宿の森に関しては、ちょっとカーボン・オフセットとは別に、区民が必要な自然体験ができるということで、これは相殺できるんじゃないかということで書きました。それから、環境学習情報センターについては、再

生可能エネルギーを100%ということで、これはすばらしい取組だと思います。これは環境学習情報センターのみならず、区のいろいろな施設にも普及してほしいと思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

やはりCO₂削減を相殺するために、カーボン・オフセット事業、3つの新宿の森というのを整備、実施しておりますけれども、新型コロナウイルスの感染症対策の影響で、昨年及び今年にはほぼ中止になっているという状況もございます。これは致し方のないところではありますけれども、緑の山はそのまますくすくと育てておりますので、カーボン・オフセットに関してはそういうものを継続して維持していく必要があるかなとは思いますが。先ほども他の委員もおっしゃっていましたが、この新宿の森に関しては、自然体験を子供たちや、私たち大人も行ったことがあるんですけども、環境保全の意識の啓発として参加しているという、自然体験学習みたいなものも兼ねておりますので、そういうのもそのまま継続していく必要もあると思います。環境学習センターの電力調達、先ほど他の委員がおっしゃいましたが、水力に切り替えたということでもありますので、これは大いに評価できると思います。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

私はちょっと厳しく見てしまいまして、評価、計画以下とさせてもらったところですね、こちらは体験メインの観点から、コロナウイルスでできないということに対して、計画以下とさせていただきます。一方で、4番の環境に配慮した電力調達の切替え、こちらは本当に、工夫であったり、すぐに行動に移しているといったところでは評価できる面はあるということで、やはり事業として継続推奨を特に期待しているので、これは区民を巻き込むという意味でも、すごく推奨したいと個人的にも思うところがありますので、今後の期待も含めて計画以下とさせてもらい、今後、それ以上に取り組むということで、今回はちょっと厳しく見させていただきました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

大体皆さん、見ている点というか、意見としてはほぼ同じ内容だったかと思います。評価が3つに分かれています、全体として計画どおりということによろしいですね。私も計画以上を撤回し、計画どおりに格下げしたいと思いますので、そういう形でまとめた上で、電源を水

力発電にしたということは大いに評価できるし、今後に期待したいということ、それから、次のやはり今後の取組のほうで出ますけれども、カーボン・オフセットの関係は、ほかの効果がいろいろあるので、そういう普及なり周知なりPRなりということを考えてほうがいいんじゃないかということがあるかと思えます。ということでよろしいですね。

今後の取組の方向性に対する意見のほうに移りたいと思います。私が今申し上げたように、カーボン・オフセット事業は、先ほど委員のご指摘にも確かあったとおり、二酸化炭素の排出削減の量とか費用対効果では新宿区としては効果は非常に小さいわけですね、CO₂の削減量という意味では。けれども、環境教育の面とか間伐材の活用という適切な森林管理の面とか、いろいろと、率先垂範と書きましたけれども、範を垂れるというような面もあるだろうと、そういう意味では意義が大きいですので、その意義なり効果を区民に周知してほしいということを書きました。それから、環境に配慮した電力調達については、もっと頑張ってくださいを期待したいというようなことかと思いました。

ということで、次をお願いします。

【委員】

先ほど申し上げた体験メニューといったところで、やはりコロナ禍で環境、そういったところ、トラブルによってできないといった場合でも、代替案の策定が必要だと認識しました。それに伴い、例えば、実際、心身障害者の方であったり、直接行かない体験に代わるものは、やはり事情に鑑みて工夫する必要があるのではと思います。

以上です。

【部会長】

なるほど。そうですね、ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

私も実は他の委員と同じで、これは2年間自然体験ができていないだけでは、ちょっとそれは、先ほど委員長もおっしゃったように、カーボン・オフセット事業の表裏一体があるものですから、私は最後の施策評価のところでかなり厳しく書いているんですが、CO₂削減というのは、多分これは理論値でやる話だと思うので、子供たちが行こうと行くまいと、これは計画をきちんと実施していかなくはいけないと思うんですよ。つまり、理論値として少しでも減らしていく努力というのはないと、子供たちが行かないからどうのこうの、木を植えないからどうのこうのということで終わってしまうと、カーボン・オフセット事業ではなくなってしまふような気がして、実は評価としてかなり厳しめに見ておまして、まず、ここで言いたいのは、関係自治体ですね、行く先々がありますので、そことよく協議して、今後このコロナ禍の中でどうしていくかは打ち出さないといけないのではないかというふうに書きました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

私もカーボンオフセット事業というものは評価するんですけども、まずその前に、事業者、区民、もろもろ、まずCO₂削減をそれぞれがすることが一番効果があるんじゃないかと思えます。ですから、新宿の森での活動ももちろん必要というか、大切なんですけれども、日々の生活で我々自身がCO₂をいかに減らすかということ而努力することのほうが大事ではないかと思いました。

【部会長】

ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

カーボン・オフセットへの新宿区の取組ということでございますが、新宿の森というのがここで大きく取り上げられておりますけれども、このCO₂削減によるカーボン・オフセット、皆さんからも意見もございましたが、ただこの新宿の森だけで相殺できるはずもございません。そういうことも含めて、ここにも書きましたけれども、新宿区内にある7つの森、保護樹木、屋上緑化、また、さらなる街路樹の整備、それからまた公園等、そういう整備等も含めて、緑というものをもっと増やしていくことが必要ではないかなと思います。私たちが排出するCO₂、二酸化炭素は、こういう緑の樹木や、いろいろなものが吸ってくれて、酸素を吐き出してくれるというふうに学習をさせていただきましたんですけども、緑豊かな新宿を目指して区も取り組んでいただきたいと思えます。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

この部分はかなり重要な指摘をそれぞれ皆さんいただいたと思えますので、そこを適切にまとめたいと思えます。ここはもともとは新宿の森だけの事業項目ですよ。それが、1点は、コロナだからといって、ただできませんでしたということではなく、今後も別にコロナがなくなるわけではなくて、いろいろな工夫、あるいは障害を持つ方ということも含めて、どういう体験なり、あるいは認識を深めてもらうことができるのかということに取り組む必要があるんじゃないかというご指摘、それから、もう1つは、今、委員がおっしゃったように、植物、緑がCO₂を吸収してくれると広く捉えるならば、広くというか、それは新宿の森だけではないでしょうというお話だと思うんですよ、区内でいろいろできることがまだまだ、オフセットという意味では、あるんじゃないでしょうかということのご指摘だと思いますが、その辺も検討してくださいというようなことも書くべきかなというふうに思いました。それと、プラスの方向で、環境に配慮した電力調達についてはとても評価できることなので、今後さらに頑張っていたきたいと、そんな形でよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

あと、委員のお書きになったその他意見のところは。

【委員】

これはさっき申し上げたとおりでございます。同じでございます。

【部会長】

ありがとうございます。

それでは、次の事業、83番のほうに移りたいと思います。環境学習、環境教育の推進ですね。

【部会長】

ここは環境絵画展、環境日記展、エコリーダー養成講座、エコにトライ、夏休み子供エコ講座、環境学習発表会ということですね。そういういろいろやっていますよという話で、私は1行しか書いていませんが、ほぼ予定どおり着実に展開しているので、計画どおりと評価するというふうに書きました。

では、お願いします。

【委員】

こちらはそれぞれの活動、やはり、特に参加している、目に見える、実際に表彰されたり、そういったところも含めて、個々の教育の推進を見ると、やはり進んでいく可能性、実績を残していると思えました。1つだけ例を挙げると、環境絵画展、エコダイアリーですね、実際私も足を運んで拝見しまして、これは家族を巻き込むという形をしているので、そこから広く普及であったりという相乗効果があるといったところで、計画どおり進んでいるといたしました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

これについては意見ございません。計画どおりでよろしいと思います。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

先日ヒアリングのときにも申し上げましたけれども、エコリーダー養成講座というのが、本来この6回でリーダーが養成できたのかなということで、ちょっとその辺が疑問に思ったのと、エコにトライとか環境学習発表会ができなかったということで、本来なら計画以下としたかたんですけれども、コロナの関係で、できない割には工夫や努力をしているのが目に見えたので、トータル的に計画どおりと評価いたしました。

【部会長】

ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

ここでは、環境学習情報センターを通しての情報発信とか、そういうものが主に評価されるところでございますけれども、コロナ禍の関係で計画が足止めされているというようなことでございます。これはもう致し方のないところであると思います。この中の下のほうにも記載させていただきましたが、小中学校施設での緑やいろいろなことへの取組、水辺と自然と親しむという、そういうものが環境白書等を見るとうかがわれますので、高く評価したいと思います。今後とも区民一人一人が環境問題に対する意識啓発につながるように取り組んで期待としますので、よろしくお願いします。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

これも計画どおりという全体の評価になりますことを確認した上で、どうでしょう、特にここで強くコメントしておくことというのはあまりないですかね。コロナで中止になったのは残念ですがというようなことがあります、全体の評価としてはいいんじゃないでしょうか、そのくらいでよろしいでしょうかね。

では、今後の取組の方向性に対する意見のほうですが、お願いします。

【委員】

先ほど他の委員がおっしゃっていたエコリーダー養成講座についてなんですけれども、こちらは自発的な活動をするというところで、環境学習普及者の母数を増やすことが目指すゴールではないかと思ひまして、やはり一時的な学びで終わるのではなく、継続性も含めて、その方たちの活動が広がるような仕組みが必要ではないかと、そうしないと、やはり養成講座終わって、そこで終了してしまう可能性は、すごくもったいないなと思った次第です。なので、エコリーダー養成講座について、ちょっと今後の取組、方向性は必要と思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

これは所管課が教育支援課も入っておりますので、さらに教育部門と連携してほしいということで、出されましたシートにも、新宿区版GIGAスクール構想に基づきタブレット端末が配られましたので、そういうこととも連携してやってほしいということだけです。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

私もエコリーダー講座なんですが、さきにも申し上げましたけれども、6回では少な過ぎるので、今年、去年はやむを得なかったかもしれませんが、もし今年度、多分、秋に予定されていると思うんですけども、あるいは来年度、もし6回ということでしたら、もうちょっと、フォローアップ講座とか追加の講座、もしくは6回が、例えば初級編なら、中級編、上級編という感じで、もう少し内容を深めたものにしてもらえればよいなと思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

ここでは、先ほど来より同じようなことを度々申し上げておりますけれども、この小中学校の教育施設では今までと同様に、環境学習を通して協力し合うことが大切だと感じましたというふうにございます。学校教育施設等も通し、また、それだけではなくて、地域で活動しているらっしゃる諸団体、公園サポーターとか地区協議会等の、そういう中で活動して、このCO₂削減に対する環境問題に取り組んでいらっしゃる方に対して大変感謝申し上げます。こういう方がいらっしゃらないと、私もそういういろいろな機会に触れることが少なかったと思います。下の感想とも踏まえて述べさせていただきますけれども、やはりこういう地区協議会の環境問題に対して大変熱心な方がいらっしゃいまして、そういう方が環境学習情報センター等の情報を提供していただいたり、緑の苗木を配布したり、大変熱心な方がいらっしゃいまして、そういう方に大変感謝いたしているところであります。

以上であります。

【部会長】

ありがとうございます。

ここもいろいろ重要なご指摘をいただいたと思います。全体としては、まず、エコリーダー養成講座については、委員のフォローアップといいますか、実際の活動への継続性ということをもモニターしていくことが必要じゃないか、あるいは継続することのフォローみたいな、あるいはバックアップというか、そういうようなことと、委員から6回ではいかにも少ないのということを含めて、エコリーダーの件をもう少し充実させるべきではないと、この辺が1点、方向性として指摘があったかと思えます。

それから、環境教育の面では、コロナでということがあった一方で、遠隔授業だとかタブレットの配布だとかという、遠隔でいろいろ情報提供なり教育活動をするということが全国的にどんどん進んでいるわけですから、その流れをうまく活用していくべきではないかというお話があったかというふうに思いますので、その辺の指摘をここで書きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【部会長】

ありがとうございます。

意見、感想のところはよろしいですね。ありがとうございます。

【委員】

すみません、意見、感想のところですけども、500番の環境審議会の運営のところ、私のシートの下から3行目の予算「減」額というふうになっていますけれども、これは訂正していただきたいと思います。「現」でございますので、すみませんけれども、誤解されると思いますので、ここの訂正をお願いいたします。

【部会長】

今お話がありました経常事業のほうに進みたいと思います。500番からですが、2名の委員は特に意見はない。

【委員】

それで結構です。

【部会長】

改めてですが、ここの500番のところはポイントは、どういうことになりますでしょうか。

【委員】

これはもう新宿区の環境基本条例に基づいていろいろと環境審議会が運営されているということで、経費等も記載させていただきましたが、今後とも運営の取組をよろしく願いますということでございます。

【部会長】

ここは特段意見はないということで。

【委員】

そうですね。

【部会長】

501番、環境基本計画の推進で、委員からコメントがあれば、お願いします。

【委員】

私、取組自体は適切としてなんですけれども、1つだけ、環境白書なんですけれども、実はこちらは関わらせていただく前に個人的に入手したものでして、それが近くの図書館であったので、そういったところで偶然ながらも、普及活動であったり、そういったところできているなという、公表できているなというところで、書かせてもらいました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、委員からは。

【委員】

特にございません。

【部会長】

いかがでしょうか。

【委員】

そうですね、特に問題ございませんが、今、他の委員の言われたように、環境白書、大変細かくいろいろなものをお伝えさせていただいて、この予算額からいうと、少ない予算で大きな実績ではございませんが、このように立派な環境白書を発行されていることに感謝いたします。大変参考になりますので、ありがとうございました。

以上です。

【部会長】

これ、いかがでしょうか、環境白書が1,000部、配布実績1,000部となっているんですが、今のご意見ですと、内容が分かりやすくてとてもいいという評価をされているので、もっと増やしたらどうですかと書きますか。

【委員】

そう願いたいと。

【部会長】

もっと区民に理解してもらうように部数も増やして、配布先も増やしたらどうですかと書みましょうか。

【委員】

なるほど。

【委員】

すごくいいと思います。

【部会長】

では、そういうふうにしたいと思います。

【委員】

すみません、それについてなんですが、実は環境学習情報センター、それからリサイクル活動センター、環境白書が常に置いてあるんですけども、なかなか減らないんですね。ということは、1,000部でも余っている感じなので、むしろ、こういう環境白書を出していますよということを知らない人のほうが多いんじゃないかと思imasるので、その辺の普及というか、今年度の環境白書を出しましたよ、みたいなPRのほうをもう少し周知したらいかがかと思imasました。

【委員】

それこそ教育機関に置いてもらう、部数を増やすのであれば、教育機関、小中学校であったり、と思imasました。

【部会長】

これは概要版と違って作っているんですけど、環境白書、パンフレットのようなものって。

【事務局】

事務局ですが、概要版は発行しておりません。

【部会長】

130何ページあるものなので、これを読めと言われてもなかなか大変だから、例えば概要版を作って分かりやすいパンフレットみたいにして学校で配るとか、各家庭に配るとか、何かそんなことが、実はいろいろな意味で普及啓発に効果があるのかもしれないね、と今伺っていて、思いました。そんなことも含めて、少し踏み込んで、ちょっと書いてみたいと思います。

【委員】

今の環境白書に関してですけれども、この中をいろいろと読むと、河川の水質調査とか道路の各交差点における二酸化炭素の量とか、そういうものも随分記載されて、統計が取ってございます。ですから、大変貴重な区の全部、そういう環境に関わるものが記載されておりますので、今、他の委員もおっしゃったように、教育機関をはじめ、各地域センター及びそれぞれの施設にもっと啓発活動を行って、皆さんが読みやすいところにお持ち帰りいただけるような状況にしていだければと思いますので、よろしくお願いします。

【部会長】

ありがとうございます。では、ここは少し背中を押すようなことを書きたいと思います。

では、502番、環境マネジメントシステムのところですが、いかがでしょう。

【委員】

中小企業者の一部経費補助だけではなく、これをきっかけに。

【部会長】

ここは区役所の取組ですよ。中小企業者の対象ではなく。環境マネジメントシステムの話はさっきのところがありましたので。

【委員】

失礼いたしました。ちょっと私、違っていますね。訂正させていただきます。

【部会長】

お願いします。

【委員】

区役所庁内の取組のちょっと具体が分からなかったもので、それこそPRする上で物すごく役に立つと思うんですよ、区役所がこういうことに取り組んでいますよというのは区民にとっても分かりやすいんだと思うので、もったいないなということが1つと、あと、PDCAサイクルを実施していますということなんですが、そういうものはぜひ見える化して区民の皆さんにも共有されたら、もっともったいいのではないかなと思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、ご意見ありますでしょうか。

【委員】

今も他の委員がおっしゃったように、新宿区、区役所、全庁挙げて取り組んでいるということが記載されておりましたので、ここにさらなる今後の継続的な取組をお願いいたしますということで、記載させていただきました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。これは先ほどの82の②の環境マネジメントシステムの導入と関係して、私もコメントちょっとしましたが、区役所としては独自のシステムを開発して、やっているということなので、やはり今、委員もご指摘になったように、大いにPRして、あるいは、その仕組みを民間にも導入してもらおうようなことも含めて検討してはどうかと、その辺を書きたいということによろしいでしょうか。

ありがとうございます。

では、503番のエコライフ推進員の活動についてです。お願いします。

【委員】

先ほど出ていました環境白書から活動経緯、拝見しまして、やはり実際の活動状況がふだんの生活から見えない部分があるなど。それぞれ区内の小中学校、連携する中で、先ほどの白書と同様ですね、もう少し普及活動に工夫があれば、もう少し意識化、行動につながると思います。なので、PR活動のほうに工夫を期待するということにさせていただきました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

適切ということですね。

【委員】

はい、特にございませぬ。

【部会長】

いかがでしょうか。

【委員】

エコライフ推進員をやっている者として、例年だと本当にいろいろな、小学校だとか新宿駅西口広場イベントコーナーだとか、いろいろなところでイベントなり、あるいは私たちエコライフ推進員はこういう活動をしていますよというパネル展示だとか、いろいろやっていたんですけども、今年度、エコライフまつりという、環境学習情報センターで6月に開かれるんですけども、これも中止、それから3R推進キャンペーンも中止、まちな先生見本市も中止ということで、いろいろなPRの機会が全て中止になったので、すごく、それに向けてのいろい

ろな勉強会だとか、あと行動も縮小されたという感じで、エコライフ推進員としてはすごく不消化な一年でした。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、いかがでしょうか。

【委員】

今、他の委員からもご発言がありましたように、新型コロナウイルスの感染症対策のためにエコライフ推進員の方も活動の制限をされて、大変苦勞されていることがうかがわれます。しかし、この地球温暖化対策の推進に向けては、この環境保全活動の中の中心的存在であるエコライフ推進員でございますので、今後とも継続的な活動をご支援いたしますので、よろしくどうぞお願いいたします。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

そうしますと、2名の委員のご指摘で、言ってみれば、もう少し普及あるいは、やはりオンラインも含めてということになるのでしょうか、いろいろな活動の方法も工夫して、さらに広がりを見せるようなことを考えてほしいと、そんなことを書きましようか。よろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【部会長】

ありがとうございます。

では、504番、環境学習上表センター管理運営費です。

いかがでしょうか。

【委員】

こちらは実際に足を運ばせてもらいました。環境学習情報センター自体が機能していないようにちょっと感じられたんです。なかなか人を集めることができないという観点からだと思うんですけども。そこで、ホームページ発信であったり、あとは、ほぼ人件費に予算がかかってしまうとは思うんですけども、新しい試みに対してちょっと費用を使って、これまでにない取組、動きをしてもいいんじゃないかと。そういった面で、こちらの取組内容に書かれている、環境活動をする方への新しい情報発信や活動の場を提供というところがあるので、もう少し潜在ニーズはあるのではないかと思った次第です。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

特に。

【委員】

いろいろ思うところはあるんですが、うまくまとめられなかったというか、悪いことではないので。ただ、3,400万円使っているの、費用対効果どうなのかなと、ちょっといろいろ考えましたが、コロナもあるので、現状をまず追認ということでございます。

【部会長】

ありがとうございます。

いかがでしょうか。

【委員】

エコギャラリー新宿という、新宿中央公園内にある施設ですけれども、今、他の委員のおっしゃったように3,400万円予算がついていて、これを3,404万8,000円、執行率が100%とございます。他の委員も人件費等というふうにもおっしゃったかとは思いますが、これは施設管理費等も踏まえた値段で3,400万円がかかっているのであれば、建物を借りて、それを運営して、また人件費等も捻出してとなると、それぐらいかかるのではないかなとは思いますが。このCO₂削減に関する環境問題に当たっての中心拠点となる場所でもございますので、今後ともちょっと見守っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

以上です。

【事務局】

事務局です。こちらの資料で、取りまとめの段階で修正点がございます。予算現額は3,404万8,000円ですが、事業経費といたしましては3,285万5,000円で、執行率については96.5%が確定の数字となります。訂正させていただきます。

【部会長】

ありがとうございます。

【部会長】

ここは管理運営費で、難しいんですよね。環境学習情報センターが取り組んでいる内容を評価するのかどうかというのが実に難しく、取り組んでいる内容は具体的に説明されていないので、今ご意見があったんですが、どういうコメントをすればいいですかね。人件費と施設の維持費だと思いますが。

【委員】

場所から言って、多分、土地代はかかっていないと思うんですよね。なので、丸抱え、本来であれば、昔であれば直轄事業だと思うんですね、区役所の職員が恐らく昔はやっていたのを、民間の指定管理に渡してやってきたというのが現状だと思うので、区の直轄として、こういう広報の拠点を作るとするのは、どの分野でもおそらくあることなので、悪いことではないと思うんです。

以上です。

【部会長】

指定管理の場合は、それ自体を評価するというのが毎年やっているはずなんですよ。指定管理が適切に運営されているかというのは、また別の委員会のもので評価しているので、内容的にはそちらかなという気もいたします。どうでしょう、その上でですが、委員のご指摘も分からなくはないんですが、ちょっと抽象的で、何を求めているのか分かりづらかなという面もあって、具体的な指摘がちょっとできないかなと今、思っています。いかがでしょうか、ここは特にコメントなし、しづらいと私は感じているんですが。

【委員】

こちらはシンプルに考えると、3,200万円かけてこの施設が必要かといったら、私は意見としては、あったほうが良いと。実際にやはり大きな広い公園と、近くにスターバックスであったりということで、利用価値があるという面では、やっぱりこの費用は必要なのかなと思います。そちらの観点とかはいかがでしょうか、皆様。

【委員】

これはどういったところが指定管理をされているんですかね。その団体名も書いていないので。

【部会長】

これはNPOか何かじゃなかったでしたっけ。

【委員】

特定非営利活動法人新宿環境活動ネットとか、そういうふうになっておりますね。

【部会長】

書いてありますね、特定非営利活動法人新宿環境活動ネット。

ちょっと内容には踏み込めないけれども、今、委員がおっしゃっていただいたような、今後も引き続きいろいろ工夫して頑張るねというような、意見にもつかない、少なくとも無駄じゃないのということではなく、頑張ってくださいというようなことにしましょうか。よろしいですか。

では、そんな形で、ちょっと文章表現は後で工夫したいと思います。ありがとうございました。

事業関係は終わりました、以上を踏まえて、最初の施策評価ということになります。最初のページですね。全体として、地球温暖化対策の推進ということです。ここも皆さん、いろいろな意見を書いていただいていますので、順番に行きたいと思います。

私は、まず評価の部分としては、おおむね順調に進んでいるということで、書いてあるとおりですが、コロナの関係で一部できなかったけれども、おおむね実施されて、温室効果ガスの排出削減量ですね、これもほぼ目標どおりに削減が進んでいるということですので、おおむね順調というふうに評価したいと思います。

では、お願いします。

【委員】

私も、おおむね順調に進んでいるというところです。細かな課題認識はあるんですけども、区民が関われるという観点から私、拝見させてもらって、おおむね順調かという結論に至りました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

私も評価としてはおおむね順調だということを支持します。ただ、事業によっても、これはもうコロナの影響を受けているのは、ここでの環境事業だけではないので、別の方法でいろいろな発見みたいなものもあるというのは、私自身も今、体験中でございますので、ぜひ中止や延期をそのままにしないで、いろいろな工夫に取り組んでいただきたいということを期待しますということでもとめました。

【部会長】

ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

ちょっと私も個別に細々と書きましたけれども、皆様のご意見同様、おおむね順調に進んでいると思います。以上です。

【部会長】

では、お願いします。

【委員】

評価といたしましては、おおむね順調に進んでいると評価させていただきました。ただ、これは世界的な課題でもあります地球環境問題に関する大きな問題でもございます。昨今の異常気象等を踏まえて、風水害とか、いろいろと大変な状況になっておりますので、2050年までにカーボン・ニュートラルや、国とか都とか区とか、ゼロカーボンシティへ向けての取組がなされておりますけれども、そういう大きい問題でもございますので、個人一人一人が取り組む問題がありますけれども、これは大きな課題だと痛感しております。そういう意味で、こういう新宿区の取組として、私たち、こういう点を評価させていただいているわけでございますので、今後とも継続的に年度ごとや、そういう節目ごとの目標の達成度をチェックしながら取り組んでいく必要があるかと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

皆さん、ここで全体としては、おおむね順調に進んでいるということで、委員のおっしゃっ

た、コロナで中止、これは見てきた個別の事業でも触れていますが、いくつかの事業についてコロナでできなかった、それを次の展開に、やはり繰り返しのようになりますけれども、オンラインでいろいろなことができるということもあるでしょうし、そういうことも含めて、ただ昨年度、あるいは今年度、コロナで中止ということではなくて、次の展開を考えてほしいと、そんなことかなというふうに思います。よろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【部会長】

では、取組の方向性に対する意見です。

まず私ですが、これはちょっと大きな話を書いています、ここで地球温暖化対策の推進という大きな施策を構成している事業が、今日見てきたとおり、いろいろあるわけですが、決してそれで完結している話ではなくて、いろいろな部局の取組ですね、新宿区役所の中でもいろいろな部署の取組もあるし、民間の取組ももちろんいろいろあって、その総体としてゼロカーボンシティということが、仮に目指すのであれば、総体として取り組まないと実現できないことですので、その体系ですね、区としての取組の全体像を、この施策の中に入っている事業だけではなくて、もろもろのことを全体像を示す必要があるんじゃないかということと、その上で、ここに入っている事業がどういう意味を持っている、どういう部分を担っているのかということを示すということが必要じゃないかというふうに書きました。

では、お願いします。

【委員】

課題認識として、やはり身近な意識づけ、世代間であつたり、置かれている環境、状況を含めて、やはり小さな活動が個々の施策に反映していくと思っておりますので、それぞれでご意見、皆さんからもあつたとおり、やっぱり知っている、知らないとはすごく違うので、周知機会の創出といったところを、一番課題かなと認識いたしました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、お願いします。

【委員】

多分、皆様と同様の思いだと思うんですが、かなりこの評価をするに当たって、どういう事業なのかとか、どういう位置づけなのかというのを理解するだけでもちょっと時間がかかったところでありまして、部会長や他の委員もお感じになっているのではないかと思いますけれども、分かりやすくという点で言うと、ちょっとやっぱり分かりにくい部分が多くて、繰り返しのようになりますが、CO₂削減というような数値目標を出している場合は、これはかなり、私はやっぱり重いと思っていますので、それについてはもう何が何でも、お金をかけてもやるんだと

というような、ちょっとそういう取組が必要かなと思います。そういうものと、普及啓発とか、少しでも多いほうがいいんですという事業があまりにも混在していて、もう少し明確な発信とか、部会長と同じです、分かりやすく示していくことが重要ではないかなというふうに思いました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

お願いします。

【委員】

先ほどもちょっと述べましたけれども、これは大きな問題でございますので、区だけの問題ではございません。国や世界各国の問題とも共通しております。再生可能エネルギーを非化石燃料、代替エネルギーですね、に替えていくということも大変重要な問題でございますが、水素とかアンモニアとか、そういうものを活用していくというふうに国やいろいろなところで検討されているようでございますけれども、今の車のガソリンを、やはり排出するに当たって、水素エネルギーとか、そういうものを推進していくのであれば、もっと早い速度で、電気自動車をはじめとして、こういう水素エネルギーステーションとか、そういうものも充実していく必要があるかと思っておりますけれども、先ほども述べましたけれども、大きな問題でございますので、区もそういう問題にちょっと取り組みながら、変更していく、脱炭素社会への実現へ向けて取り組んでいく必要があるかと思っておりますので、私一人の力では、意見ではどうしようもならない問題でございますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

【部会長】

ありがとうございます。

特段記載されていませんが、この際、何かこの部分について、全体の今後の方向性について、今思うことがあれば、ご発言いただければと思いますが。

【委員】

すみません、書きませんでしたけれども、他の委員をはじめ、今、皆様のご意見を伺って、本当に、もう少し分かりやすく、あと、誰でもが理解できるような感じで、していただけるとありがたいと思いました。

【部会長】

ありがとうございます。

これは私の感覚ですが、ここに何を書くかが一番重要ではないかと思っていまして、やはり昨今の災害が、特に水害が多くなっている地球環境問題に要因があるんじゃないかというふうに強く指摘されているわけですが、そういうこともあって、ゼロカーボンシティということが国を挙げていこうと、新宿区もそれを目指すんだということなので、つまり、大きくギアチェンジとかシフトアップとか、そういうことが求められるんだと思うんですね。そこをやはり強く求めるというか、後押ししたほうがいいかなというふうに今伺っていて、思いまし

た。

その意味では、一つはやはり全体的な体系なり、どういうことで総力を挙げるのかと、その全体像が分からないので、分かりやすく構築してほしい、あるいは、それを周知をきちんとしてほしいということが1点でしょうし、その上で、ギアチェンジということであれば、強い意思をやはり区としても示して、あるいは場合によっては新しい事業とかそういうこともその中で当然出てくる、今、ゼロカーボンに向けての計画を作るということですので、新しい事業も当然出てくるとお思いますので、そういうことも含めて、全体の体系を見直し、それを分かりやすく周知し、なおかつ新しい事業、あるいは事業の見直しということもやるべきではないかと、そんなようなことということではいかがでしょうか。いささか抽象的なことにはなりますが、ぜひ頑張してほしいというようなことをここに書くのがいいかなというふうに、伺っていて、思いました。よろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【部会長】

ありがとうございます。

その他意見のところで。

【委員】

今おっしゃっていただいたことを、まず、用語からちょっと分かりにくかったものですから、どの用語を何のために、誰に向かって言っているのかというところをもう少し、つまり、区民として知らなければいけないものは何なのかというところが、役所はこれだけやっていますというのはよく分かったんですが、区民として役所のレベルと一緒にちょっとなれないものですから、区民としては何をまずやればいいのかというところがもう少し明確になるといいのかなと思いました。

【部会長】

ありがとうございます。

【委員】

先ほども述べましたけれども、脱炭素社会の実現へ向けて取り組むことの重要性を感じております。しかしながら、何から私たちはどう区民として取り組んでいいのかが具体的ではございませんが、ここにも書かせていただきました、こういう検討する機会に遭遇いたしましたので、大変感謝をしております。また、私自身及び家族とか、また私自身の周りを通して、そういう脱炭素社会の実現へ向けての重要性をまた語り、話していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

では、一応、今日取りまとめ作業は全体が終了しましたが、改めて何かこの部分でこうい

うことを書き足しておきたいというようなことがあれば、どこでも結構ですけれども、今ご発言いただければと思いますが。

今ずっと見てきたので、私が口頭で、こんな形でまとめてはどうでしょうということで、一応ご了解いただいていたと思いますが、今、記録していただいていると思いますので、それを改めて確認しながら文章化をすることになろうかと思えます。よろしいですか。

【委員】

はい。

【部会長】

ありがとうございます。とてもスムーズに話が進みまして、ありがたかったと思います。

では、全体の作業が終了しましたので、事務局から連絡があれば、お願いします。

【事務局】

事務局でございます。皆様大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

本日、取りまとめが終了となりましたので、明日予定させていただいていた部会については開催しないこととさせていただきます。また、先生からお話ございましたけれども、今日、出たご意見等を踏まえまして事務局でまとめさせていただきまして、先生に確認いただきまして、皆様のほうにも確認いただきまして、最終的に部会としてのまとめというような流れで進めさせていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

【部会長】

はい。

【事務局】

よろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【事務局】

それでは、今後そのように進めさせていただきます。

また、今後の日程でございますけれども、既に皆様にお伝えさせていただいておりますが、今回は、10月21日木曜日午後4時からと、10月28日木曜日午後4時からということで、場所については本庁舎6階第3委員会室ということで予定しており、全体会ということで2回予定してございます。こちらでは、委員会としての評価のとりまとめというところでございますが、各部会からの取りまとめ状況の報告をそれぞれさせていただきまして、全体としてまとめるというような予定をしております。また、10月の全体会では、来年度どういった施策に取り組むのかということも決めていただければと思っておりますので、併せてよろしく願いいたします。

また、外部評価が取りまとまりましたら、実施結果の区長報告というのを予定してございます。日程といたしましては11月上旬から中旬ぐらいに予定させていただいておりますが、こちらの位置づけとしては任意参加とさせていただきますが、また、セレモニーになりますので、

無報酬ということになりますが、もしご都合のつく方いらっしゃいましたら、ぜひご参加いただければと思っております。

事務局からの事務連絡については以上でございます。

【部会長】

ありがとうございました。今の事務局からのお話に何かご質問なりがあれば、どうぞ。

【委員】

スケジュールに関して確認させていただきたいんですけども、今の内容を確認して、またメールなりいただいてというのは、これは9月中にそれを完成させるといったご予定でしょうか。

【事務局】

事務局でございます。委員のご指摘のとおり、9月中には皆様に部会の取りまとめ案ということで示させていただいて、了解いただきまして、10月の全体会のほうに示してまいりたいというところでございます。

【部会長】

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

では、今日予定していたことは全て終了いたしましたので、これで部会を終了したいと思います。

どうもありがとうございました。

<閉会>